

「小黙示録（共観福音書黙示録）」共観福音書比較

マタイ 24 章	マルコ 13 章	ルカ 21 章
<p>◆神殿の崩壊を予告する</p> <p>1 イエスが神殿の境内を出て行かれると、弟子たちが近寄って来て、イエスに神殿の建物を指さした。</p> <p>2 そこで、イエスは言われた。「これらすべての物を見ないのか。はっきり言っておく。一つの石もここで崩されずに他の石の上に残ることはない。」</p>	<p>◆神殿の崩壊を予告する</p> <p>1 イエスが神殿の境内を出て行かれるとき、弟子の一人が言った。「先生、御覧ください。なんとすばらしい石、なんとすばらしい建物でしょう。」</p> <p>2 イエスは言われた。「これらの大きな建物を見ているのか。一つの石もここで崩されずに他の石の上に残ることはない。」</p>	<p>◆神殿の崩壊を予告する</p> <p>5 ある人たちが、神殿が見事な石と奉納物で飾られていることを話していると、イエスは言われた。</p> <p>6 「あなたがたはこれらの物に見とれているが、一つの石も崩されずに他の石の上に残ることのない日が来る。」</p>
<p>◆終末の徴</p> <p>3 イエスがオリーブ山で座っておられると、弟子たちがやって来て、ひそかに言った。「おっしゃってください。そのことはいつ起こるのですか。また、あなたが来られて世の終わるときには、どんな徴があるのですか。」</p> <p>4 イエスはお答えになった。「人に惑わされないように気をつけなさい。</p> <p>5 わたしの名を名乗る者が大勢現れ、『わたしがメシアだ』と言って、多くの人を惑わすだろう。</p> <p>6 戦争の騒ぎや戦争のうわさを聞くだろうが、慌てないように気をつけなさい。そういうことは起こるに決まっているが、まだ世の終わりではない。</p> <p>7 民は民に、国は国に敵対して立ち上がり、方々に飢饉や地震が起こる。</p> <p>8 しかし、これらはすべて産みの苦しみの始まりである。</p> <p>9 そのとき、あなたがたは苦しみを受け、殺される。</p> <p>また、わたしの名のために、あなたがたはあらゆる民に憎まれる。</p> <p>10 そのとき、多くの人がつまずき、互いに裏切り、憎み合うようになる。</p> <p>11 偽預言者も大勢現れ、多くの人を惑わす。</p> <p>12 不法がはびこるので、多くの人々の愛が冷える。</p> <p>13 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。</p> <p>14 そして、御国のこの福音はあらゆる民への証しとして、全世界に宣べ伝えられる。それから、終わりが来る。」</p>	<p>◆終末の徴</p> <p>3 イエスがオリーブ山で神殿の方を向いて座っておられると、ペトロ、ヤコブ、ヨハネ、アンデレが、ひそかに尋ねた。</p> <p>4 「おっしゃってください。そのことはいつ起こるのですか。また、そのことがすべて実現するときには、どんな徴があるのですか。」</p> <p>5 イエスは話し始められた。「人に惑わされないように気をつけなさい。</p> <p>6 わたしの名を名乗る者が大勢現れ、『わたしがそれだ』と言って、多くの人を惑わすだろう。</p> <p>7 戦争の騒ぎや戦争のうわさを聞いても、慌ててはいけなさい。そういうことは起こるに決まっているが、まだ世の終わりではない。</p> <p>8 民は民に、国は国に敵対して立ち上がり、方々に地震があり、飢饉が起こる。</p> <p>これらは産みの苦しみの始まりである。</p> <p>9 あなたがたは自分のことに気をつけていなさい。あなたがたは地方法院に引き渡され、会堂で打ちたたかれる。また、わたしのために総督や王の前に立たされて、証しをすることになる。</p> <p>10 しかし、まず、福音があらゆる民に宣べ伝えられねばならない。</p> <p>11 引き渡され、連れて行かれるとき、何を言おうかと取り越し苦労をしてはならない。そのときには、教えられることを話せばよい。実は、話すのはあなたがたではなく、聖霊なのだ。</p> <p>12 兄弟は兄弟を、父は子を死に追いやり、子は親に反抗して殺すだろう。</p> <p>13 また、わたしの名のために、あなたがたはすべての人に憎まれる。</p> <p>しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。」</p>	<p>◆終末の徴</p> <p>7 そこで、彼らはイエスに尋ねた。「先生、では、そのことはいつ起こるのですか。また、そのことが起こるときには、どんな徴があるのですか。」</p> <p>8 イエスは言われた。「惑わされないように気をつけなさい。</p> <p>わたしの名を名乗る者が大勢現れ、『わたしがそれだ』とか、『時が近づいた』とか言うが、明けてはならない。</p> <p>9 戦争とか暴動のことを聞いても、おびえてはならない。こういうことがまず起こるに決まっているが、世の終わりはすぐには来ないからである。」</p> <p>10 そして更に、言われた。「民は民に、国は国に敵対して立ち上がる。</p> <p>11 そして、大きな地震があり、方々に飢饉や疫病が起こり、恐ろしい現象や著しい徴が天に現れる。</p> <p>12 しかし、これらのことがすべて起こる前に、人々はあなたがたに手を下して迫害し、会堂や牢に引き渡し、わたしの名のために王や総督の前に引っ張って行く。</p> <p>13 それはあなたがたにとって証しをする機会となる。</p> <p>14 だから、前もって弁明の準備をするまいと、心に決めなさい。</p> <p>15 どんな反対者でも、対抗も反論もできないような言葉と知恵を、わたしがあなたがたに授けるからである。</p> <p>16 あなたがたは親、兄弟、親族、友人にまで裏切られる。中には殺される者もいる。</p> <p>17 また、わたしの名のために、あなたがたはすべての人に憎まれる。</p> <p>18 しかし、あなたがたの髪の毛の一本も決してなくならない。</p> <p>19 忍耐によって、あなたがたは命を勝ち取りなさい。」</p>
<p>◆大きな苦難を予告する</p> <p>15 「預言者ダニエルの言った憎むべき破壊者が、聖なる場所に立つのを見たら―読者は悟れ―、</p> <p>16 そのとき、ユダヤにいる人々は山に逃げなさい。</p> <p>17 屋上にいる者は、家にある物を取り出そうとして下に降りてはならない。</p> <p>18 畑にいる者は、上着を取りに帰ってはならない。</p> <p>19 それらの日には、身重の女と乳飲み子を持つ女は不幸だ。</p> <p>20 逃げるのが冬や安息日にならないように、祈りなさい。</p> <p>21 そのときには、世界の初めから今までなく、今後も決してないほどの大きな苦難が来るからである。</p> <p>22 神がその期間を縮めてくださらなければ、だれ一人救われない。しかし、神は選ばれた人たちのために、その期間を縮めてくださるであろう。</p> <p>23 そのとき、『見よ、ここにメシアがいる』『いや、ここだ』と言う者がいても、信じてはならない。</p> <p>24 偽メシアや偽預言者が現れて、大きなしるしや不思議な業を行い、できれば、選ばれた人たちをも惑わそうとするからである。</p> <p>25 あなたがたには前もって言うておく。</p> <p>26 だから、人が『見よ、メシアは荒野にいる』と言っても、行ってはならない。また、『見よ、奥の部屋にいる』と言っても、信じてはならない。</p> <p>27 稲妻が東から西へひらめき渡るように、人の子も来るからである。</p> <p>28 死体のある所には、はげ鷹が集まるものだ。」</p>	<p>◆大きな苦難を予告する</p> <p>14 「憎むべき破壊者が立ってはならない所に立つのを見たら―読者は悟れ―、</p> <p>そのとき、ユダヤにいる人々は山に逃げなさい。</p> <p>15 屋上にいる者は下に降りてはならない。家にある物を何か取り出そうとして中に入ってはならない。</p> <p>16 畑にいる者は、上着を取りに帰ってはならない。</p> <p>17 それらの日には、身重の女と乳飲み子を持つ女は不幸だ。</p> <p>18 このことが冬に起こらないように、祈りなさい。</p> <p>19 それらの日には、神が天地を造られた創造の初めから今までなく、今後も決してないほどの苦難が来るからである。</p> <p>20 主がその期間を縮めてくださらなければ、だれ一人救われない。しかし、主は御自分のものとして選んだ人たちのために、その期間を縮めてくださったのである。</p> <p>21 そのとき、『見よ、ここにメシアがいる』『見よ、あそこだ』と言う者がいても、信じてはならない。</p> <p>22 偽メシアや偽預言者が現れて、しるしや不思議な業を行い、できれば、選ばれた人たちを惑わそうとするからである。</p> <p>23 だから、あなたがたは気をつけていなさい。一切の事を前もって言うておく。」</p>	<p>◆エルサレムの滅亡を予告する</p> <p>20 「エルサレムが軍隊に囲まれるのを見たら、その滅亡が近づいたことを悟りなさい。</p> <p>21 そのとき、ユダヤにいる人々は山に逃げなさい。都の中にいる人々は、そこから立ち退きなさい。田舎にいる人々は都に入ってはならない。</p> <p>22 書かれていることがことごとく実現する報復の日だからである。</p> <p>23 それらの日には、身重の女と乳飲み子を持つ女は不幸だ。</p> <p>この地には大きな苦しみがあり、この民には神の怒りが下るからである。</p> <p>24 人々は剣の刃に倒れ、捕虜となってあらゆる国に連れて行かれる。異邦人の時代が完了するまで、エルサレムは異邦人に踏み荒らされる。」</p>
<p>◆人の子が来る</p> <p>29 「その苦難の日々の後、たちまち太陽は暗くなり、月は光を放たず、星は空から落ち、天体は揺り動かされる。</p> <p>30 そのとき、人の子の徴が天に現れる。そして、そのとき、地上のすべての民族は悲しみ、人の子が大いなる力と栄光を帯びて天の雲に乗って来るのを見る。</p> <p>31 人の子は、大きなラッパの音を合図にその天使たちを遣わす。天使たちは、天の果てから果てまで、彼によって選ばれた人たちを四方から呼び集める。」</p>	<p>◆人の子が来る</p> <p>24 「それらの日には、このような苦難の後、太陽は暗くなり、月は光を放たず、</p> <p>25 星は空から落ち、天体は揺り動かされる。</p> <p>26 そのとき、人の子が大いなる力と栄光を帯びて雲に乗って来るのを、人々は見る。</p> <p>27 そのとき、人の子は天使たちを遣わし、地の果てから天の果てまで、彼によって選ばれた人たちを四方から呼び集める。」</p>	<p>◆人の子が来る</p> <p>25 「それから、太陽と月と星に徴が現れる。地上では海がどよめき荒れ狂うので、諸国の民は、なすすべを知らず、不安に陥る。</p> <p>26 人々は、この世界に何が起こるのかとおびえ、恐ろしさのあまり気を失うだろう。天体が揺り動かされるからである。</p> <p>27 そのとき、人の子が大いなる力と栄光を帯びて雲に乗って来るの</p> <p>を、人々は見る。</p> <p>28 このようなことが起こり始めたら、身を起こして頭を上げなさい。あなたがたの解放の時が近いからだ。」</p>
<p>◆いちじくの木の話</p> <p>32 「いちじくの木から教えを学びなさい。枝が柔らかくなり、葉が伸びると、夏の近づいたことが分かる。</p> <p>33 それと同じように、あなたがたは、これらすべてのことを見たなら、人の子が戸口に近づいていると悟りなさい。</p> <p>34 はっきり言うておく。これらのことがみな起こるまでは、この時代は決して滅びない。</p> <p>35 天地は滅びるが、わたしの言葉は決して滅びない。」</p>	<p>◆いちじくの木の話</p> <p>28 「いちじくの木から教えを学びなさい。枝が柔らかくなり、葉が伸びると、夏の近づいたことが分かる。</p> <p>29 それと同じように、あなたがたは、これらのことが起こるのを見たら、人の子が戸口に近づいていると悟りなさい。</p> <p>30 はっきり言うておく。これらのことがみな起こるまでは、この時代は決して滅びない。</p> <p>31 天地は滅びるが、わたしの言葉は決して滅びない。」</p>	<p>◆「いちじくの木」のたとえ</p> <p>29 それから、イエスはたとえを話された。「いちじくの木や、ほかのすべての木を見なさい。</p> <p>30 葉が出始めると、それを見て、既に夏の近づいたことがおのずと分かる。</p> <p>31 それと同じように、あなたがたは、これらのことが起こるのを見たら、神の国が近づいていると悟りなさい。</p> <p>32 はっきり言うておく。すべてのことが起こるまでは、この時代は決して滅びない。</p> <p>33 天地は滅びるが、わたしの言葉は決して滅びない。」</p>
<p>◆目を覚ましていなさい</p> <p>36 「その日、その時は、だれも知らない。天使たちも子も知らない。ただ、父だけがご存じである。</p> <p>37 人の子が来るのは、ノアの時と同じだからである。</p> <p>38 洪水になる前は、ノアが箱舟に入るその日まで、人々は食べたり飲んだり、めとったり嫁いだりしていた。</p> <p>39 そして、洪水が襲って来て一人残らずさうまで、何も気がつかなかった。人の子が来る場合も、このようである。</p> <p>40 そのとき、畑に二人の男がいれば、一人は連れて行かれ、もう一人は残される。</p> <p>41 二人の女が臼をひいていれば、一人は連れて行かれ、もう一人は残される。</p> <p>42 だから、目を覚ましていなさい。いつの日、自分の主が帰って来られるのか、あなたがたには分からないからである。</p> <p>43 このことをわきまえていなさい。家の主人は、泥棒が夜のいつごろやって来るかを知っていたら、目を覚ましていて、みすみす自分の家に押し入らせはしないだろう。</p> <p>44 だから、あなたがたも用意していなさい。人の子は思いがけない時に来るからである。」</p>	<p>◆目を覚ましていなさい</p> <p>32 「その日、その時は、だれも知らない。天使たちも子も知らない。父だけがご存じである。</p> <p>33 気をつけて、目を覚ましていなさい。その時がいつなのか、あなたがたには分からないからである。</p> <p>34 それは、ちょうど、家を後に旅に出る人が、僕たちに仕事を割り当てて責任を持たせ、門番には目を覚ましていようと、言いつけておくようなものだ。</p> <p>35 だから、目を覚ましていなさい。いつ家の主人が帰って来るのか、夕方か、夜中か、鶏の鳴くころか、明け方か、あなたがたには分からないからである。</p> <p>36 主人が突然帰って来て、あなたがたが眠っているのを見つかるかもしれない。</p> <p>37 あなたがたに言うことは、すべての人に言うのだ。目を覚ましていなさい。」</p>	<p>◆目を覚ましていなさい</p> <p>34 「放縦や深酒や生活の煩いで、心が鈍くならないように注意しなさい。さもないと、その日が不意に畏のようにあなたがたを襲うことになる。</p> <p>35 その日は、地の表のあらゆる所に住む人々すべてに襲いかかるからである。</p> <p>36 しかし、あなたがたは、起ころうとしているこれらすべてのことから逃れて、人の子の前に立つことができるように、いつも目を覚まして祈りなさい。」</p> <p>37 それからイエスは、日中は神殿の境内で教え、夜は出て行って「オリーブ畑」と呼ばれる山で過ごされた。</p> <p>38 民衆は皆、話を聞こうとして、神殿の境内にいるイエスのもとに朝早くから集まって来た。</p>